



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R6年度 第4号①
津山教育事務所9月

学校経営オンライン座談会（9／10）テーマ「学校における人材育成をどう図っていくか」

校長として豊かな経験を有している現職の再任用校長および特例任用校長から①学校経営において大事にしてきたこと、②若手教員を育てる上での工夫や取組、③リーダーを育てる上での工夫や取組、④今後の学校経営に求められることを語っていただきました。約60名の皆様に参加していただき、多くの学びを得ることができました。参加者の皆様からの感想も数多く寄せていただきました。その中から、校長・教頭各1名の感想とキーワードを共有したいと思います。

～参加者の感想～

強く揺さぶられた時間でした。4名の方が学校を動かすためにいかに自身の考えをもち、整理して組み立てているかを示してくださり、その奥深さに圧倒されました。まだまだ自分に備えが足りないことを痛感しました。同じような言葉を使っている、道筋は同じように考えている。しかし、裏打ちとなる幾重もの考え方、自分なりの道筋をもっていることが印象的でした。特に、「動きながら作っていく」の通り、学校現場は常に動く中で止まることなく、吸収しながら自分の考えを組み立て組織マネジメントする意識と行動力の高さが校長には必要だと改めて感じました。この研修後、感想を伝え合い、学校内で日常課題となっていることを改めて捉え直す機会にもなりました。教頭、主幹教諭も交え、3名で共有したところです。

校長の覚悟・判断・行動力を磨き、よりよい学校にするための知見を広げ、マネジメントにつなげる努力は自分自身には一層必要だと感じています。また、校長一人ではない。学校内で対話をしながら、納得解を見出すことも、必要だと感じました。目指すところへ、楽しみながら。そのためのつながりを広げ、力を借りながら。今日の研修は、大きな刺激を受けました。今日お話をされた方の語る力、実践の裏打ち、そしてにじみ出る安心感を自分も備えることができるよう一層努力いたします。

【即時取り組むこと】

- ・運営委員会の改善 時間配分の見直し、事務職員・養護教諭の参加
- ・職員の相談に対して、考えを聞き、後押しをする
- ・相互授業参観、出張の奨励
- ・学校運営協議会、創立50周年行事、地域学習に対してビジョンをもった計画立案

河辺小：小池校長先生 大崎小：森本校長先生
鶴山中：児島校長先生 久世中：丸山校長先生
貴重な提案を本当にありがとうございました。

それぞれの校長先生方が各校の実態を踏まえ、しっかりとした学校経営ビジョンをもたれていることがとても参考になりました。

小池校長先生からは、「居場所と安心感がある学校・職場づくり」のため、職員とゴールを共有し、一人ひとりが自分事として捉える事が次への意欲の高まり・チーム力への高まりにつながる。森本校長先生からは、校長として常に意識しているルーティーンから、具体的に校内運営委員会を組織し課題解決に取り組んでいること。児島校長先生からは、校長の学校マネジメントにより組織全体と個人のビジョンを重ねることの重要性。丸山校長先生からは、「あすかぶた」の必要性について、保護者対応において担当者は責任者ではなく校長の覚悟が必要なこと。等を御示唆頂きました。

どの校長先生もそれぞれ学校経営のやり方は違うけれど、今回の研修で感じたことは、校長がしっかりとしたビジョンを示し、職員とゴールを共有し自分事として捉えさせる事の重要性です。また、機能的な組織を整備し、適切なポジションを配置することで若手・中堅・ベテランの意欲向上や人材育成につながると感じました。

今回の研修を踏まえ、常に自分自身が「学び続ける」人間でありたいと思います。

学校経営等で相談したいことがありましたら、御遠慮なくアドバイザー **金田まで** 連絡ください。連絡先：津山教育事務所義務教育支援課
学力向上班 TEL (0868) 24-8705

※キーワード「あすかぶた」「心理的安全性」は、テキストマイニングにより それぞれ「あすか」「ぶた」、「心理的」「安全性」に分かれてしまいました。ご了承ください。